

# 平成 30 年度第 3 回函館市生活交通協議会会議録

開催日時	平成 31 年 2 月 20 日（水） 14 時 00 分～15 時 30 分
開催場所	函館市企業局 4 階大会議室
議 題	<p>(1) 地域公共交通バリア解消促進等事業について(JR 函館駅内方線整備事業)</p> <p>(2) 函館市関係バス路線の再編について</p> <p>(3) 函館市生活交通路線維持費補助金に係る平成 3 1 年度改善計画（案）について</p> <p>(4) その他</p>
出席者	<p>協議会委員 (計 2 2 名)</p> <p>奥平委員, 木村委員, 渡部委員, 森委員, 渡部委員, 三上委員, 大槻委員, 佐々木(香)委員, 富樫委員, 鈴木委員, 杉澤委員, 鈴木(健)委員, 成田委員, 田畑(浩)委員, 田畑(聡)委員,</p> <p>横田委員 (一般社団法人函館地区ハイヤー協会事務局長 辻廣氏代理出席)</p> <p>上野委員 (北海道旅客鉄道株式会社函館支社企画グループ副課長 本宿氏代理出席)</p> <p>谷内委員 (北海道開発局函館開発建設部道路計画課上席道路計画専門官 山中氏代理出席)</p> <p>椋平委員 (北海道渡島総合振興局函館建設管理部事業室道路課主査 北村氏代理出席)</p> <p>穴田委員 (北海道警察函館方面函館中央警察署交通課規制係長 三上氏代理出席)</p> <p>目時委員 (北海道警察函館方面函館西警察署交通課規制係長 池田氏代理出席)</p> <p>小林委員 (函館市企画部計画推進室長 手塚氏代理出席)</p> <p>ワーキンググループ委員 (計 1 名)</p> <p>宿村委員</p> <p>議題等関係者 (計 3 名)</p> <p>北海道旅客鉄道株式会社総合企画本部経営企画部主幹 鈴木 智之氏</p> <p>函館バス株式会社バス事業部長 内澤 博昭 氏</p> <p>函館バス株式会社バス事業部次長 金岩 祐也 氏</p> <p>オブザーバー (計 1 名)</p> <p>北海道運輸局函館運輸支局首席運輸企画専門官 呉 憲一郎 氏</p> <p>随行者 (計 3 名)</p> <p>函館バス株式会社バス事業部営業課係長 渡部 十月哉 氏</p> <p>函館バス株式会社バス事業部管理課係長 吉岡 剛 氏</p> <p>北海道渡島総合振興局地域創生部地域政策課新幹線推進室主査 岡野 文 氏</p> <p>報道関係 (計 0 社)</p> <p>傍聴者 (計 0 名)</p>
欠席者	<p>協議会委員 (計 3 名)</p> <p>佐々木(勝)委員, 上野山委員, 佐藤委員</p>
事務局の出席者の職氏名	<p>企画部計画推進室政策推進課 主査 嶽本 政弘</p> <p>企画部計画推進室政策推進課 主査 上田 智子</p> <p>企画部計画推進室政策推進課 主事 田中 勇大</p>

## 1 開 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：田中主事】

## 2 報 告

### 【奥平会長】

---

- ・ 議題に入る前に、函館バス株式会社より、系統番号の見直しに係る周知状況について報告がある。

### 【函館バス株式会社／内澤部長】

---

- ・ 本協議会にて承認をいただいた系統番号の見直しについて、4月1日の実施へ向けて、バス待合所や車内へのポスター掲示をはじめとして、周知を進めている。
- ・ 大きな見直しとなるので、周知についても皆様のご協力をお願いしたい。

### 【奥平会長】

---

- ・ ただいまの報告に対し、意見等はないか。

<質 疑>

### 【奥平会長】

---

- ・ N C V，FMいるかなどのメディアを通じた周知についても取り組んでいただきたい。

### 【奥平会長】

---

- ・ 他に意見がなければ、函館バス株式会社には、4月1日の新系統番号導入へ向けて、引き続き準備を進めていただきたい。

## 3 議 題

(1)地域公共交通バリア解消促進等事業について(JR 函館駅内方線整備事業)

### 【奥平会長】

---

- ・ 議題(1)「地域公共交通バリア解消促進等事業について」であるが、本件に係る経過について事務局から説明の後、資料について北海道旅客鉄道株式会社から説明いただきたい。

### 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：上田主査】

---

- ・ 平成30年3月27日の本協議会で承認を受けた「JR 函館線函館駅（北海道函館市）生活交通改善事業計画」に基づく函館駅への内方線整備事業に

については、国、市、事業者の三者で実施することとしていたが、国において予算を確保できず、平成30年度の実施が困難となった。

- ・ 内方線整備の重要性は変わらないことから、函館市としては来年度以降の整備に対応するため、今後、国の状況を注視しながら、同様の内容で新たな計画を策定したいと考えているので、地域として本計画への同意とご協力を引き続きお願いしたい。

#### 【北海道旅客鉄道株式会社／鈴木主幹】

---

- ・ (資料1に基づき事業内容の説明)
- ・ 国において当初予算が確保されなかったことが明らかになり、補正についても国に要望してきたところであるが、冬季の工事が困難であることから、今年度の実施を断念し、引き続き来年度以降の予算を要望している。

#### 【奥平会長】

---

- ・ 国の補助制度について、北海道運輸局の鈴木委員、補足はないか。

#### 【鈴木委員】

---

- ・ JR北海道からは全道で5駅要望をいただいていたが、結果として、函館駅を含め5駅とも予算の確保には至らなかった。
- ・ 全国では1日あたり1万人以上の利用がある駅についても整備が完了していないものがあり、そちらを優先して対応したもの。その他、国を挙げて対応を進めているオリンピック・パラリンピック会場周辺の駅施設整備に予算を要した。本協議会で審議いただいたなか、予算を確保できなかったことを申し訳なく思う。
- ・ 平成31年度については、同補助金の予算総額220億円となっており、前年より10億円増額しているが、全国的に優先対応を必要とする未整備の駅が残されており、変わらず厳しい状況にある。
- ・ このような状況ではあるが、引き続き要望をあげていくためにも、来年度以降へ向けた審議をお願いしたい。

#### 【奥平会長】

---

- ・ ただいまの説明に対し、意見等はないか。

<質 疑>

#### 【木村委員】

---

- ・ 当該補助制度においては、交通系ICカードシステムの導入も補助対象となっていたかと思うが、新函館北斗駅から函館駅への導入は対象とならないか。
- ・ また、当該区間のICカード導入の事業予定はないか。

#### 【北海道旅客鉄道株式会社／鈴木主幹】

---

- ・ 直接の担当は異なるが、函館地区へのＩＣカード導入の事業計画はないものと聞いている。

#### 【鈴木委員】

---

- ・ 当該区間のＩＣカード導入については函館市長からも要望をいただいているところである。
- ・ 補助メニューはあるものの、当該区間のＩＣカード導入は極めて高額になり、現実的には難しい。

#### 【奥平会長】

---

- ・ 他に意見がなければ、本件については今後も内方線整備へ向けた検討を続けることとし、計画策定等の際には改めて本協議会に諮りたい。

<一同了承>

### (2) 函館市関係バス路線の再編について

#### 【奥平会長】

---

- ・ 議題(2)の「函館市関係バス路線の再編について」、本件を協議事項とする理由について事務局から説明の後、資料に基づき函館バス株式会社から説明いただきたい。

#### 【事務局／企画部計画推進室政策推進課：嶽本主査】

---

- ・ 本協議会は、市内における生活交通の確保方策等について検討するために設置しているものであり、設置要綱第2条第1号では、協議事項として、「函館市内におけるバス生活路線の確保方策およびサービスの充実に関すること」を掲げている。
- ・ 設置要綱第7条では、第2条第1号に掲げる事項のうち、函館バス株式会社における「路線の廃止および新設」、「大規模な減便」、「大規模な経路変更」その他のダイヤ改正に関する事項について協議することを定めており、同社が平成31年4月に予定するダイヤ改正と合わせて行うバス路線の見直しのうち、要綱に記載された事項について事前に協議を行うものである。
- ・ なお、本件以外の軽微な見直しに関しては、協議を要しないこととしているので、今回の案件には含まれない。

#### 【函館バス株式会社／金岩次長】

---

(資料2に基づき説明)

**【奥平会長】**

---

- ・ ただいまの説明に対し、質問等はないか。

<質 疑>

**【奥平会長】**

---

- ・ 特に意見がなければ、協議会として変更を承認するという事によろしいか。

<一同了承>

**(3) 函館市生活交通路線維持費補助金に係る  
平成31年度改善計画(案)について**

**【奥平会長】**

---

- ・ 議題(3)の「函館市生活交通路線維持費補助金に係る平成31年度改善計画(案)について」、まず事務局から本件について説明の後、函館バス株式会社から計画内容について説明いただきたい。

**【事務局／企画部計画推進室政策推進課：嶽本主査】**

---

- ・ バス路線の補助については、国・道・市の役割分担により維持・確保が図られており、本市においても「函館市バス生活路線維持費補助金交付要綱」に基づき補助を行っている。
- ・ 本市の補助要綱では、市が単独で補助を行う函館市生活交通路線のうち、前年度の平均乗車密度が5人未満の不採算路線については、バス事業者において、経路や運行回数などの見直しを行う改善計画を、本協議会における意見を尊重しながら策定することとしていることから、この度、函館バス株式会社作成の計画案を諮るものである。
- ・ 今回、改善計画の対象となる東部4地域関係路線については、合併時の協議において、当分の間継続して補助対象路線とすることとされているので、合併時の経過もご理解のうえ、ご意見を頂戴したい。

**【函館バス株式会社／金岩次長】**

---

(資料3に基づき説明)

**【奥平会長】**

---

- ・ 函館バス株式会社から提出された平成31年度改善計画案を受け、市の考え方を事務局から説明願いたい。

### 【事務局／嶽本主査】

---

- ・ 対象3系統のすべてが東部4地域関係路線であり、地域住民の足として非常に重要なものであるとともに、函館バス株式会社においては収支改善に向けて、イカすニモカの周知や、フリーパスの新規導入といった利用促進策に取り組んでいることから、平成31年度もこの系統を補助対象系統としたい。
- ・ しかしながら、先日開催のワーキンググループ会議において、当該系統は赤字運行が常態化しており、乗車密度等の改善が長らく見られていないことから、本市の運行する通院バス等との調整を含め、根本的なシステムの見直しを行うべきとの指摘があったところであり、今後、本市においてもあり方を検討したい。

### 【奥平会長】

---

- ・ ただいまの説明に対し、質問や意見等はないか。

<質 疑>

### 【三上委員】

---

- ・ 函館市から、根本的なシステムの見直しを検討するとの説明があったが、交通事業者にとっても赤字のまま運行を続けるというのは望ましいものではない。
- ・ 他自治体でもデマンドなど多様な交通形態の協議が進んでいる。市から当該地区の地域審議会等に積極的にはたらきかけ、乗車実態を説明するなどして、速やかに検討を進めていただきたい。

### 【奥平会長】

---

- ・ 合併時の協議に基づき、当分の間補助を継続するとのことであったが、合併から15年が経過しようとしており、終期が近付いているのではないかと感じている。
- ・ ご意見を踏まえ、ワーキンググループ会議等で議論を進めて参りたい。

### 【奥平会長】

---

- ・ 他に意見がなければ、これら4地域関係路線については、今後、あり方に検討を加えることとするが、平成31年度改善計画案については、本協議会として承認するというところでよろしいか。

<一同了承>

#### (4) その他

##### 【奥平会長】

---

- ・ 予定していた議題は以上だが、その他、皆様から何かあるか。

##### 【富樫委員】

---

- ・ 9時から10時台のホテルのチェックアウトの時間帯、湯の川から函館駅前方面の市電において、車両内の通路が観光客の荷物で塞がっており、高齢者をはじめとした利用者の移動が難しくなっている。
- ・ 市電を運行する企業局としては、このような状況についてどのように考えるか。

##### 【田畑(聡)委員】

---

- ・ 近年インバウンドが増加するなか、ご指摘のとおり状況にあるが、市電には大きな手荷物のための収納スペースが存在していない。
- ・ インバウンドに限らず、学生のリュック等についても、車内移動の妨げになっているとの声が寄せられている。
- ・ 他のお客様の移動の妨げにならないよう、乗務員から協力を呼びかけたり、乗降のお手伝いをするなど接遇の向上に取り組んでいるところである。

##### 【奥平会長】

---

- ・ 混み合う時間帯は決まっており、2両編成での運行を割り当てるなどの対策もご検討いただきたい。

##### 【田畑(聡)委員】

---

- ・ インバウンドや宿泊施設が増加するなか、各時間帯の乗降状況の分析を進めているところであり、将来的な検討課題として取り組んで参りたい。

##### 【佐々木委員】

---

- ・ JRでも同様の状況があるので対応を検討されたい。

##### 【本宿氏(上野委員代理)】

---

- ・ 特急については各車両に荷物置場を設けているが、混雑時には乗車に時間がかかることがある。
- ・ 乗務員には乗り込みが完全に終わってから出発するよう指導しているが、今後とも配慮していきたい。

##### 【富樫委員】

---

- ・ 観光都市を目指すのであれば、こういった点への対応も進めていく必要がある。

#### 【奥平会長】

---

- ・ 観光のために生活交通が脅かされてはならない。今後本協議会としても鋭意検討して参りたい。

#### 【佐々木委員】

---

- ・ 登下校の時間帯、高校生がリュックを背負って立っていると、下車のための移動がむずかしくなっている。
- ・ 車両前方の座席が2列となったバスが運行しているが、このタイプでは余計に通路が狭くなるため、配慮いただきたい。

#### 【函館バス株式会社／金岩次長】

---

- ・ 函館バスでは中型のノンステップバスを多く導入しているが、席数が不足するため、近年は大型のノンステップバスの導入を進めている。これにより少しずつではあるが、状況を改善していきたい。

#### 【佐々木委員】

---

- ・ バスにおいて、始発駅周辺では十分に暖房が利いていないことがある。利用者に配慮いただきたい。

#### 【函館バス株式会社／金岩次長】

---

- ・ バス車両の暖房が故障していることがあるため、随時整備を進めている。

#### 【佐々木委員】

---

- ・ バスの乗降口として除雪されている場所から、停車位置がずれることにより乗降が難しくなっていることがある。
- ・ バス停の除雪が不十分であることも要因になっていると思われる。
- ・ バス会社および道路管理者には利用者への配慮をお願いしたい。

#### 【函館バス株式会社／金岩次長】

---

- ・ 函館バスでもバス停を巡回しているが、行き届いていない部分がある。
- ・ 住宅地のバス停などでは、バス停付近の雪かきを地域の方に手伝っていただいている例もある。
- ・ 関係機関と協議のうえ、改善を進めて参りたい。

#### 【田畑(浩)委員】

---

- ・ 市道管理者として、市民サービスの低下に繋がらないよう速やかな除雪を心がけているが、市内には多くのバス停があるなか、除雪が行き届かないことがある。
- ・ バス事業者とも連携しながら除雪を進めているところであり、今後も両者

で検討して参りたい。

**【北村氏（椋平委員代理）】**

---

- ・ 道道においても、除雪については極力早い段階での対応を心がけている。引き続き至らないところのないように対応して参りたい。

**【山中氏（谷内委員代理）】**

---

- ・ 国道においても、極力歩道の除雪を優先して進められるよう連携して取り組んで参りたい。

**【奥平会長】**

---

- ・ 関係機関において努力されているところと思うが、特段のご配慮をお願いしたい。

**【佐々木委員】**

---

- ・ 函館市において除雪機の貸出事業を実施していたが、町内会でこれを借りようとした際に、市道の除雪以外には使用しないようにとの説明を受けたと耳にしている。
- ・ 市民としては、国道、道道、市道の管轄により除雪の区分が分かれていることに違和感を覚える。特にバス道路については、三者で連携して除雪を進めていただきたい。

**【奥平会長】**

---

- ・ 最後に事務局から何かあるか。

**【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：田中主事】**

---

- ・ 次回協議会の開催時期は3月下旬を予定しており、日程が近付いたら改めてご案内する。

**【奥平会長】**

---

- ・ 他になければ、これで予定した議事をすべて終了したので、進行を事務局にお渡しする。

**4 閉 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：田中主事】**